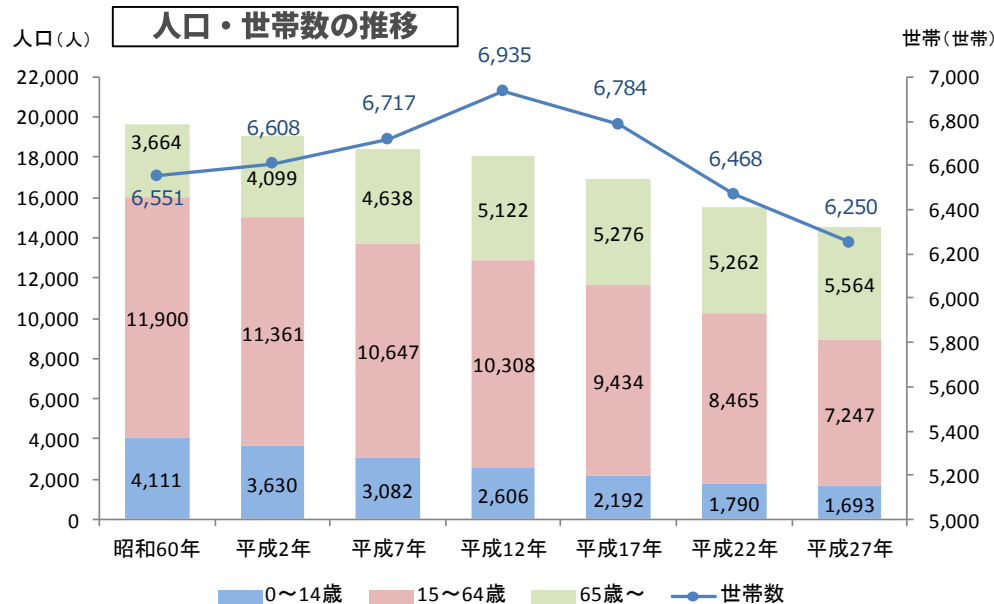


第2次隠岐の島町総合振興計画審議会

基礎調査結果等の概要

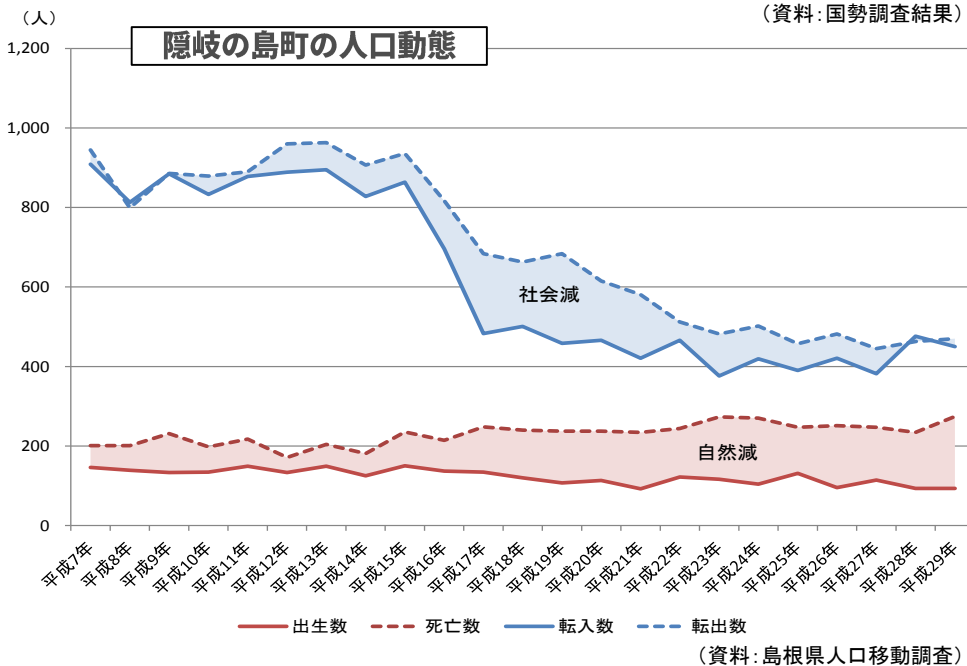
令和元年5月

人口・世帯



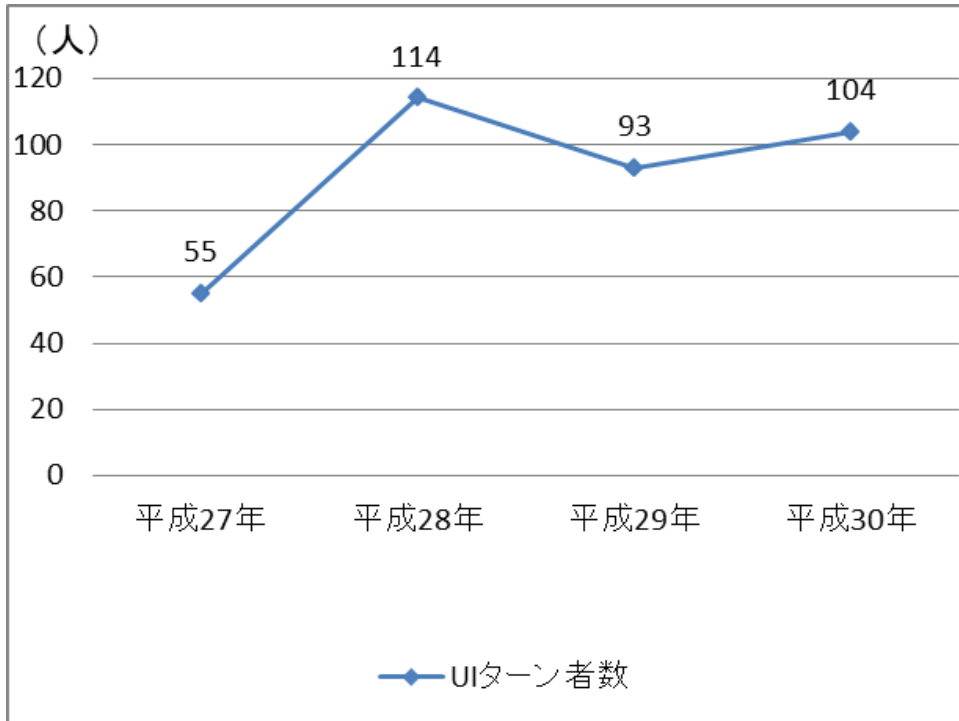
- ✓ 総人口は**14,504人** (H27国調)
- ✓ 生産年齢人口・年少人口は**減少**、一方で、**65歳以上の高齢者人口は増加傾向**
(高齢化率 **38.4%**)
- ✓ 世帯数は**6,250世帯** (H27時点)
- ✓ 平成12年をピークに、以降は**減少傾向**

- ✓ 自然増減は出生数を死亡数が上回る**自然減の状態**
- ✓ 社会増減は平成19年の226人減をピークに**社会減を抑制しつつある**



県外からのU・Iターン者数

UIターン者数

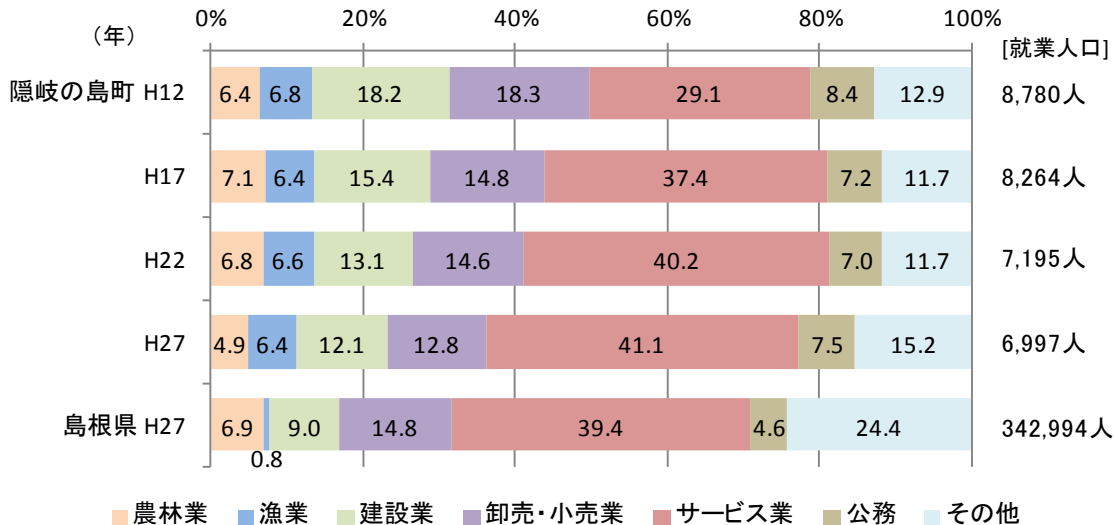


(資料: 島根県人口移動調査)

- ✓ 県外からのU・Iターン者数はここ数年は**100人前後**で推移している
- ✓ U・Iターン者数は**県町村内**では**トップクラス**である

産業構造・経済総生産額

産業別就業人口割合



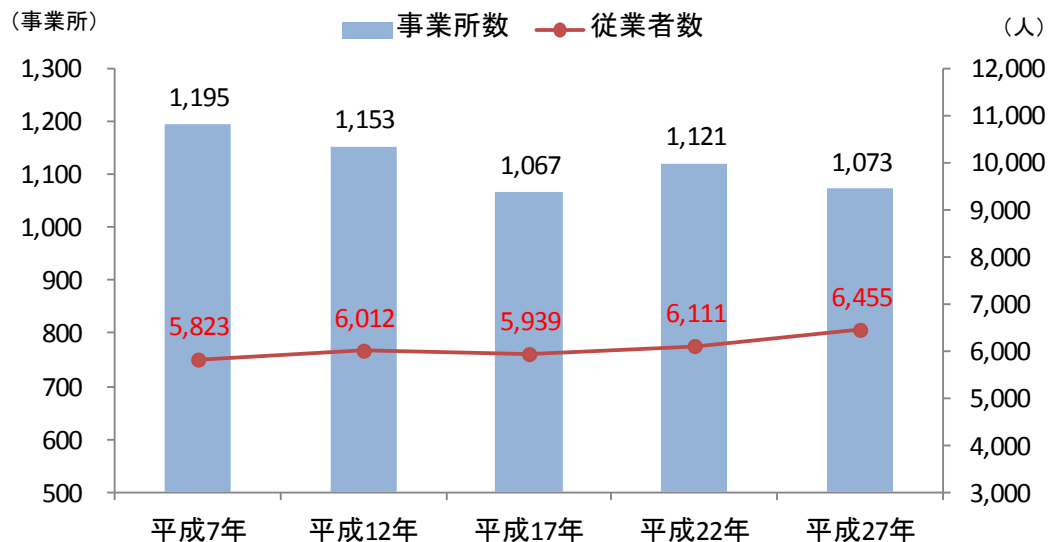
✓ 農林業・漁業を中心とした**第一次産業の比率は減少傾向**

✓ 第二次産業の**建設業は、減少傾向**にあるが、県平均よりは高い水準を維持

✓ 第三次産業は**増加傾向**

事業所数・事業者数の推移

(資料: 国勢調査結果)



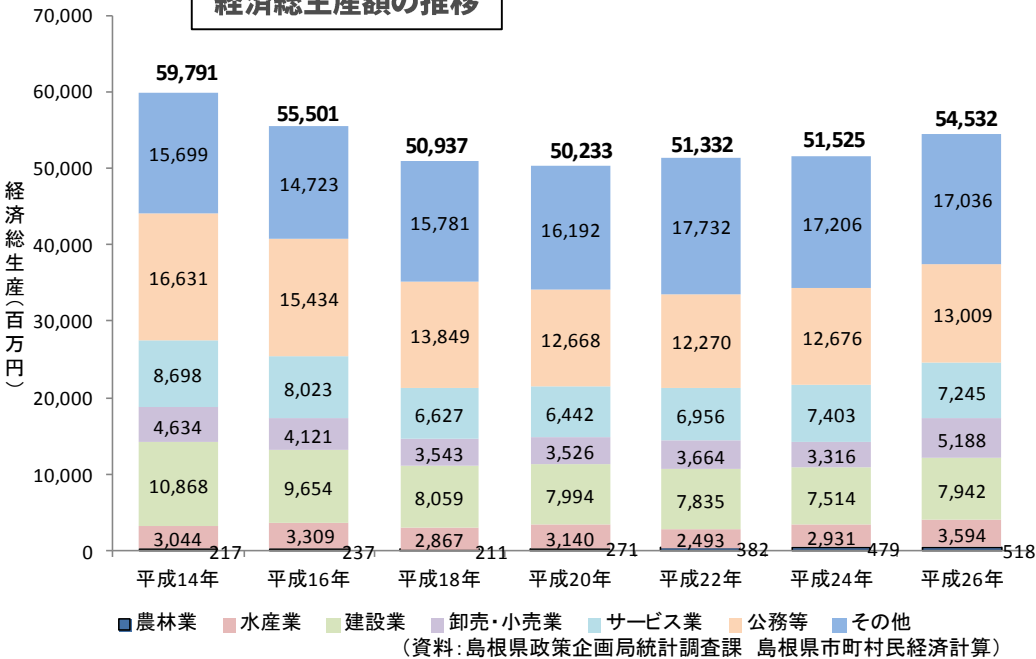
✓ 事業所数は平成20年までは減少傾向にあったのが、その後は好転

✓ 従業者数は増加傾向にある

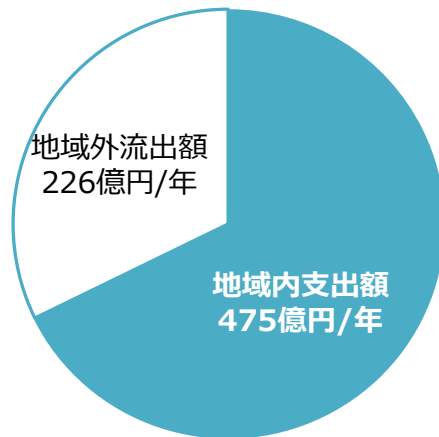
(資料: 島根県統計書)

産業構造・経済総生産額

経済総生産額の推移



2013年の町内支出額の内訳



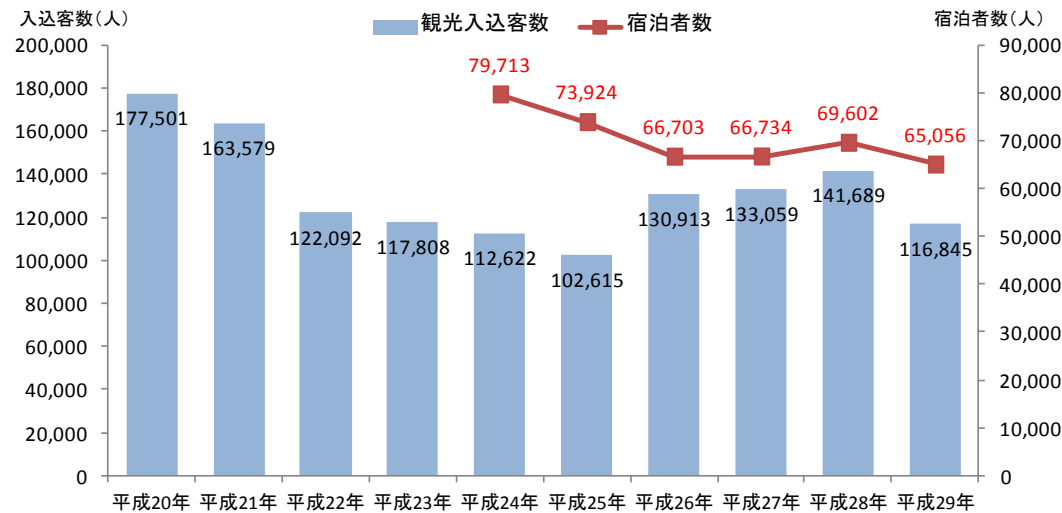
（資料：RESASを元に作成）

- ✓ 経済総生産額は、**545億3,200万円**（H26時点）
- ✓ 平成20年までは減少傾向にあったのが、その後は好転
- ✓ 本町の住民一人当たりの所得は、県内町村の順位で**1～3位**

- ✓ 町内で支出された金額の合計は**701億円/年**
- ✓ 町内に支出された金額が**475億円/年**、町外に支出された金額が**226億円/年**
- ✓ 地域経済循環率は**67.8%**
※ 島根県平均（83.8%）

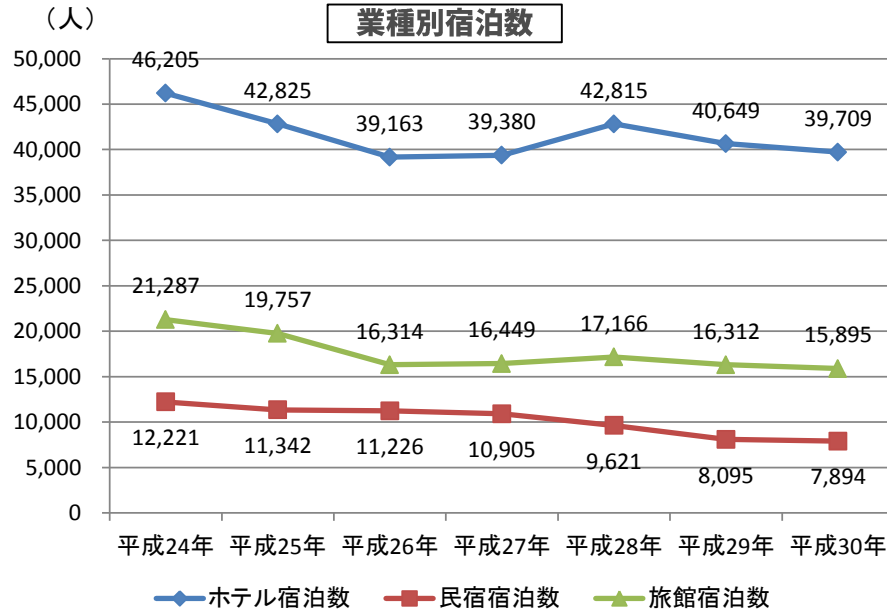
観光業

観光客数の推移



(資料: 島根県観光動態調査結果、隠岐の島町観光協会提供資料)

業種別宿泊数



(資料: 隠岐の島町観光協会提供資料)

✓ 観光客数は**約11万人**
(H29時点)

✓ 観光客数は平成20年以降、平成25年まで**減少傾向**で推移

✓ 平成25年から平成28年に掛けては**増加傾向**を維持

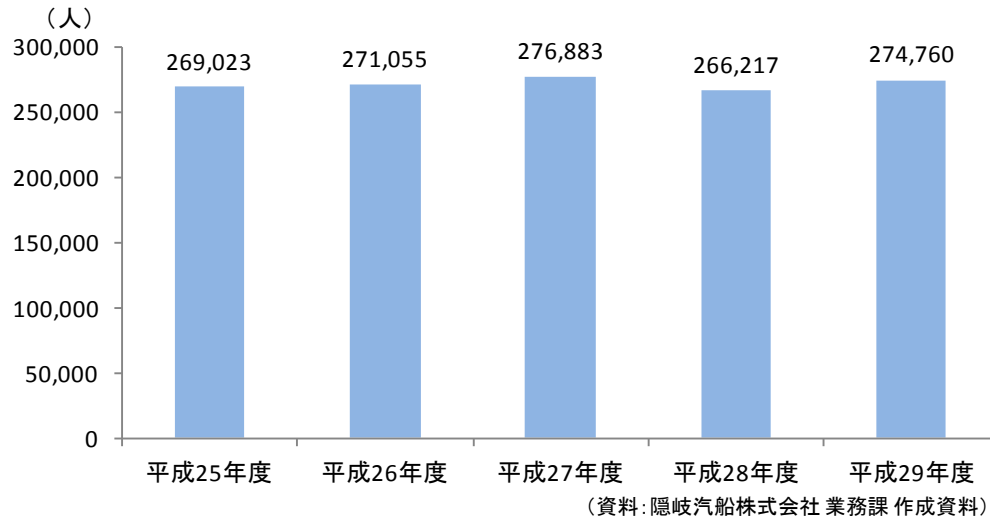
✓ 平成29年に**再度減少**

✓ 宿泊者数は全体的に**減少傾向**

✓ 業種別では「**民宿**」の**減少率が顕著**

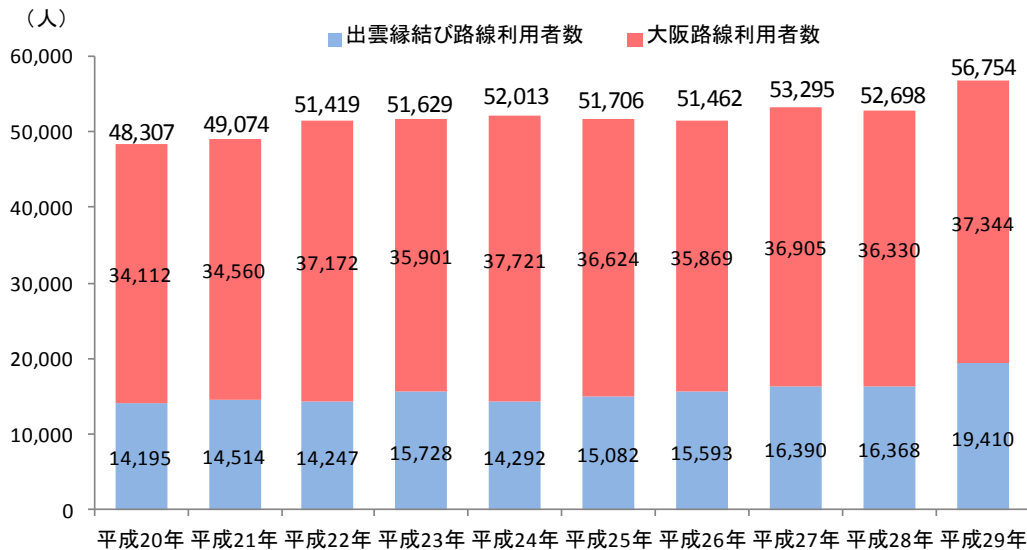
生活環境・都市基盤の整備状況

西郷港利用者数の推移



- ✓ 隠岐汽船の平成29年度の利用者は**274,760人**
- ✓ 利用者数は平成25年度以降、**26万人**を起点に横ばい状態

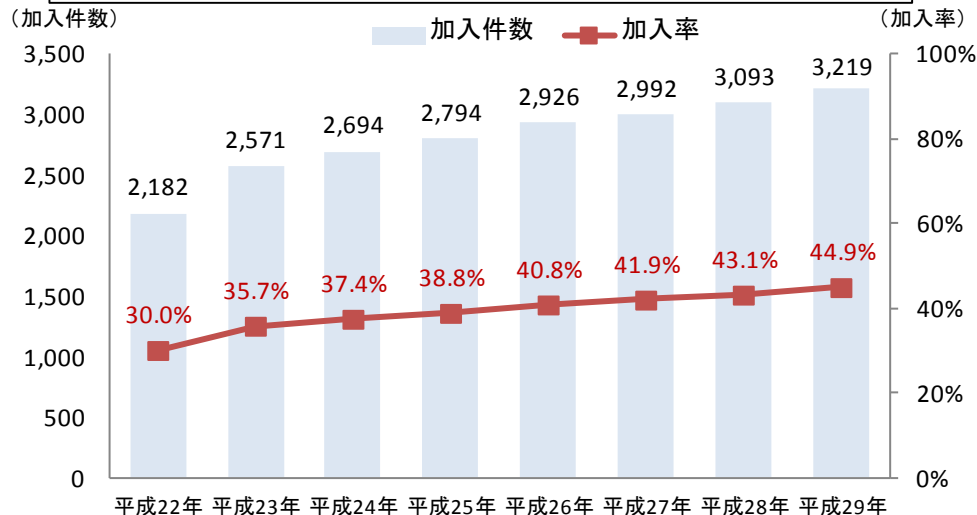
隠岐空港利用者数の推移



- ✓ 隠岐空港の利用者数は、平成20年以降、**やや増加傾向**
- ✓ 平成29年には、過去10年間では最高となる**56,754人**を記録

生活環境・都市基盤の整備状況

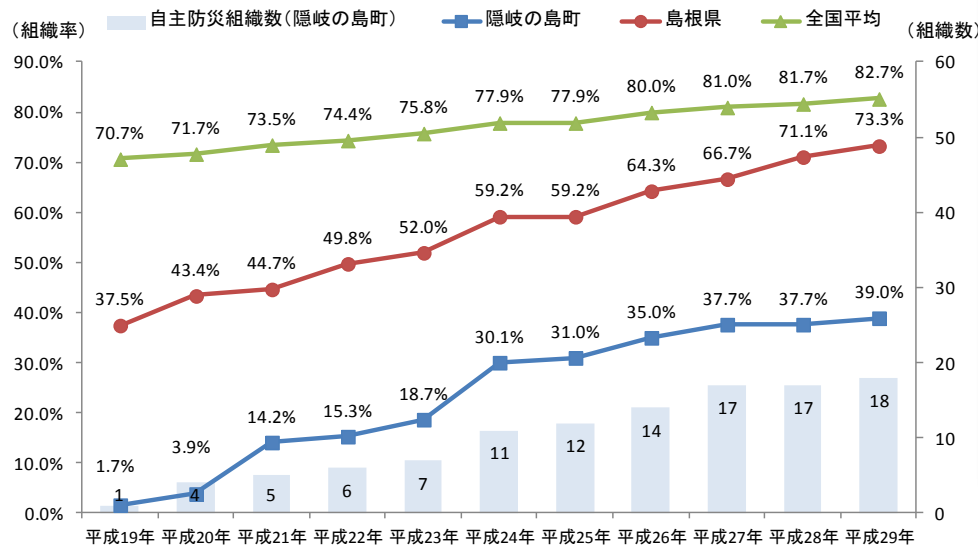
光通信網整備以降の光ファイバー加入件数・加入率の推移



(資料: 隠岐の島町 総務課 広報広聴係 提供資料)

- ✓ 平成29年時点での加入件数は**3,219件** (加入率 **44.9%**)
- ✓ 光通信整備 (H22)以降、加入件数は**増加傾向**

自主防災組織活動カバー率の推移

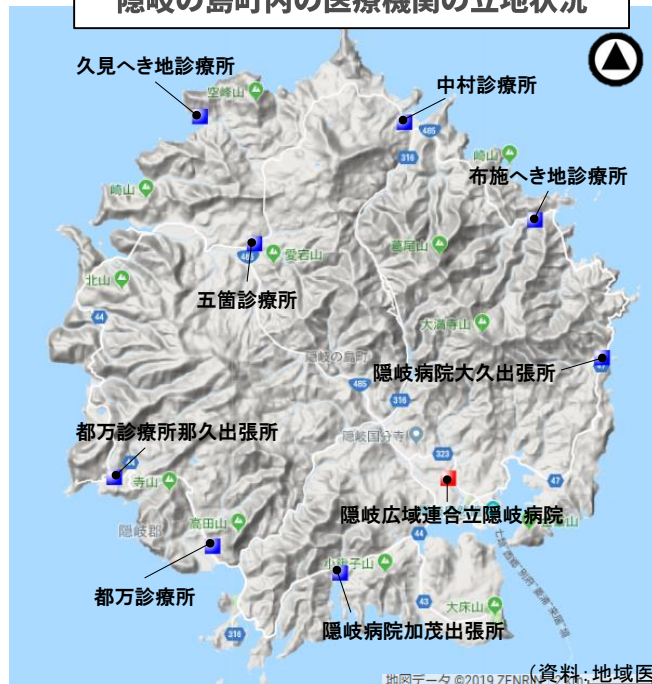


(資料: 隠岐の島町提供資料、消防白書(消防庁))

- ✓ 平成29年時点での自主防災組織数は**18組織** (組織率**39.0%**)
- ✓ 県平均などと比較すると組織数は**低い状態**
- ✓ 地域の防災力向上に向け、**さらなる組織化が必要**

保健・医療・福祉

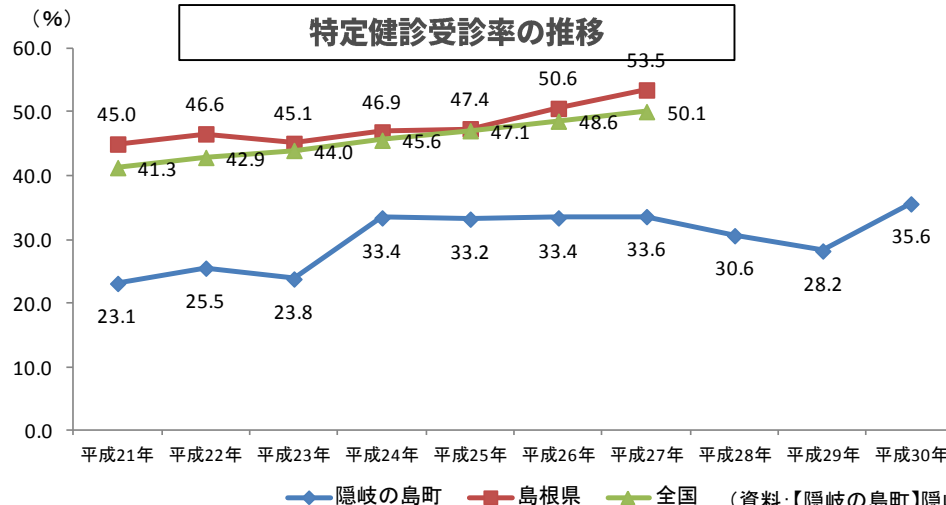
隠岐の島町内の医療機関の立地状況



(資料: 地域医療情報システム)

✓ 隠岐広域連合立隠岐病院をはじめ、公立または民間による診療施設が、**18施設存在**

✓ 医療に係る**スタッフの確保**や**本土の医療機関との連携強化**が課題



(資料: 【隠岐の島町】隠岐の島町提供データ

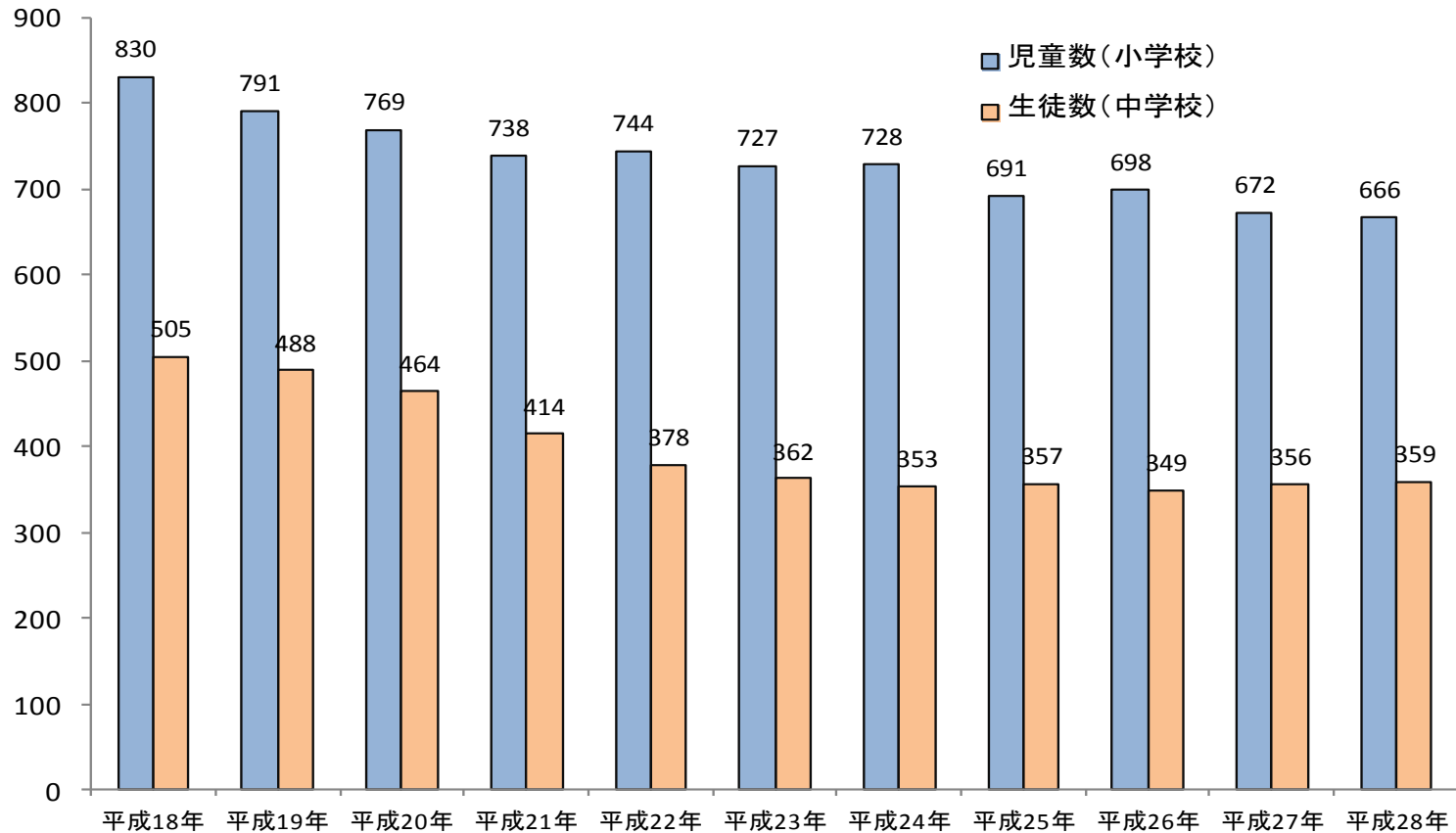
【島根県】特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況(都道府県別一覧)

【全国】厚生労働省資料「2017年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について【概要】」より)

✓ 受診者数・受診率とも制度開始移行増加傾向

✓ 受診率は島根県および全国平均を約20ポイント程度低い

教育環境

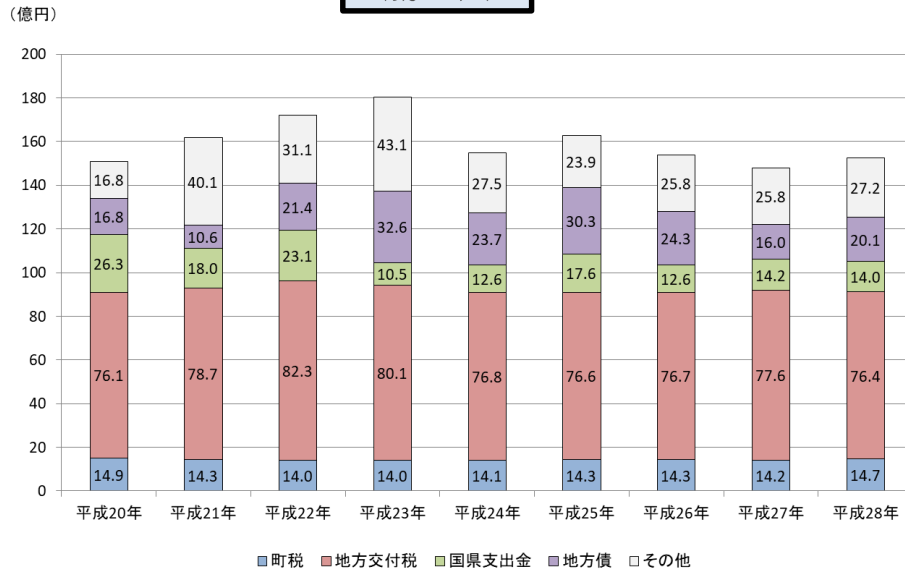


✓ 町内には、**小学校が7校、中学校が4校、高校が2校**存在

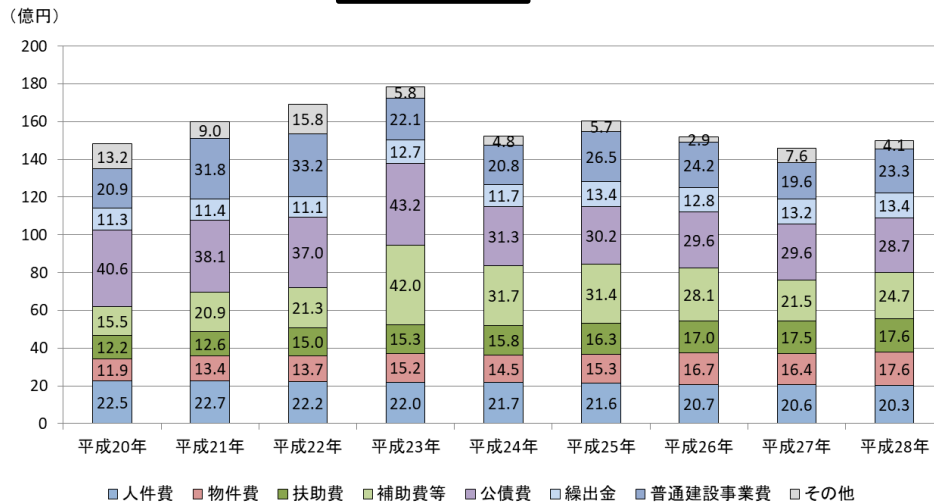
✓ 児童・生徒とも平成18年が最も多く、以後は**減少傾向**

財政状況

歳入



歳出



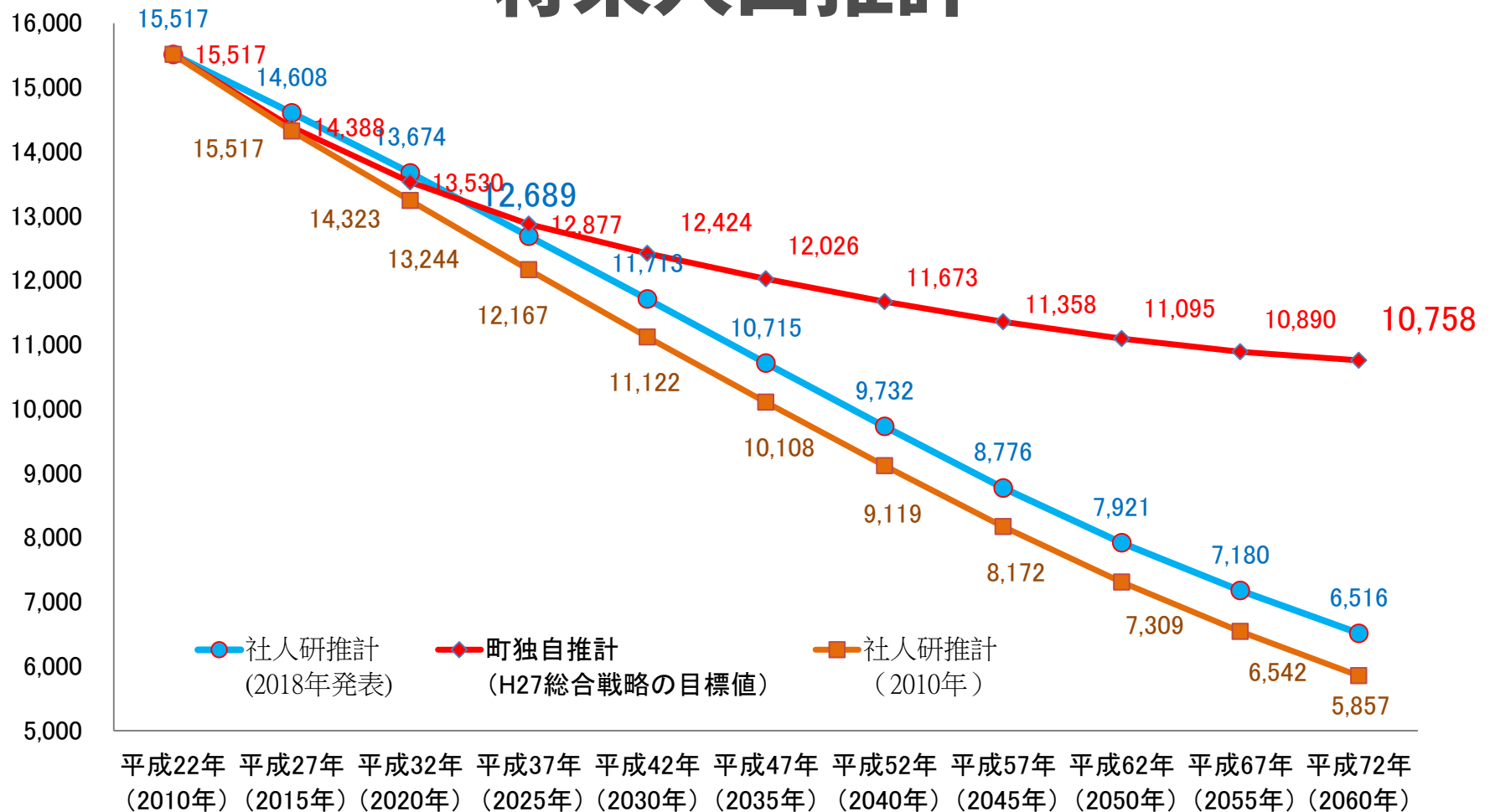
(資料: 島根県市町村財政データベースをもとに作成)

✓ 平成23年をピークに、
歳入・歳出ともに**減少**
傾向

✓ 歳入の多くが地方交
付税、国県支出金及
び地方債に依存

✓ 現在の経済情勢など
を踏まえた、**財政健
全化への取り組みが
必要**

将来人口推計

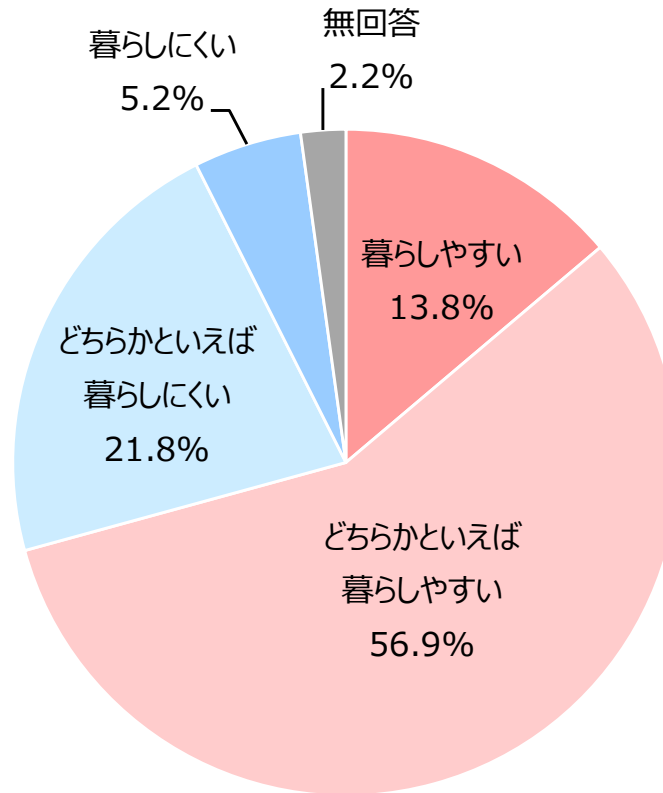


- ✓ 「国立社会保障・人口問題研究所（社人研）」の推計（2018年発表）では、2060年時点で、総人口は6,516人まで減少する予測
- ✓ 「隠岐の島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推計では、2060年時点で、10,758人の人口を確保することを目標として設定

人口が減る中、
どうやって
『多様な暮らし方』
を持続していく
か？

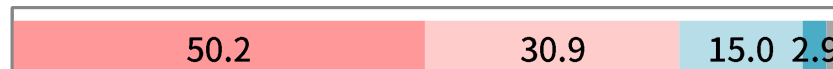
町民の皆さんの意見 (アンケート調査結果)

暮らしやすさ



0% 20% 40% 60% 80% 100%

小学生 (n=207)



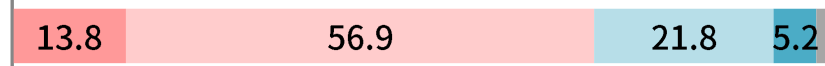
中学生 (n=100)



高校生 (n=94)

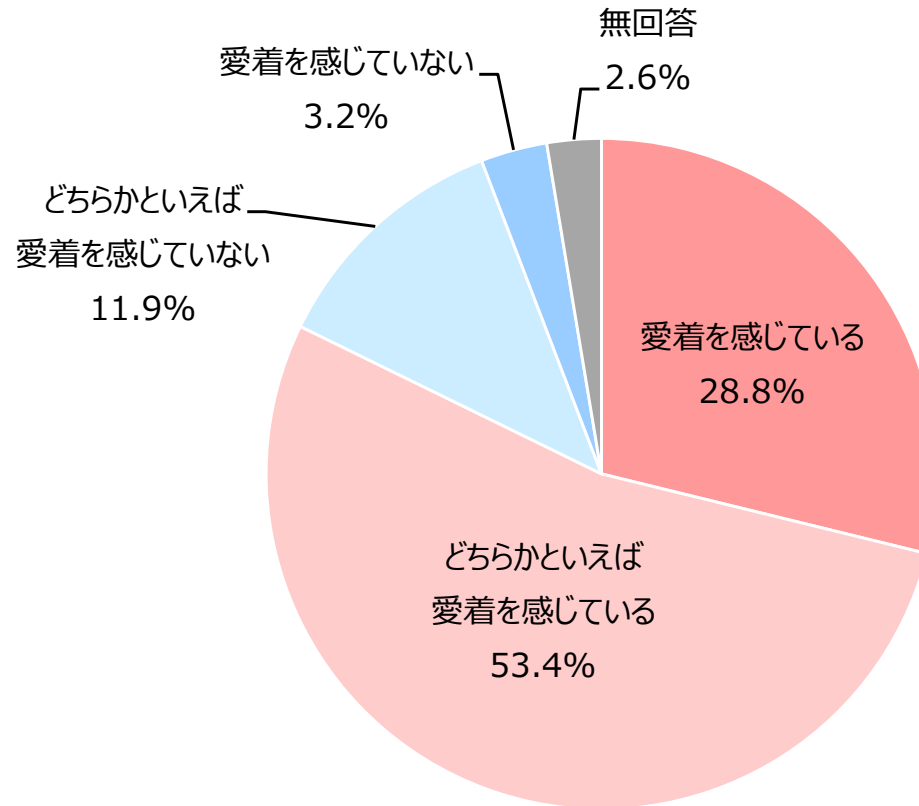


一般 (n=687)



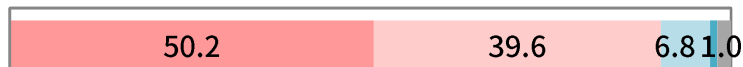
- 暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしにくい
- 暮らしにくい
- 無回答

まちに対する愛着



0% 20% 40% 60% 80% 100%

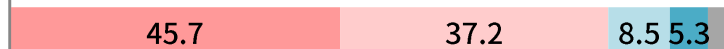
小学生 (n=207)



中学生 (n=100)



高校生 (n=94)

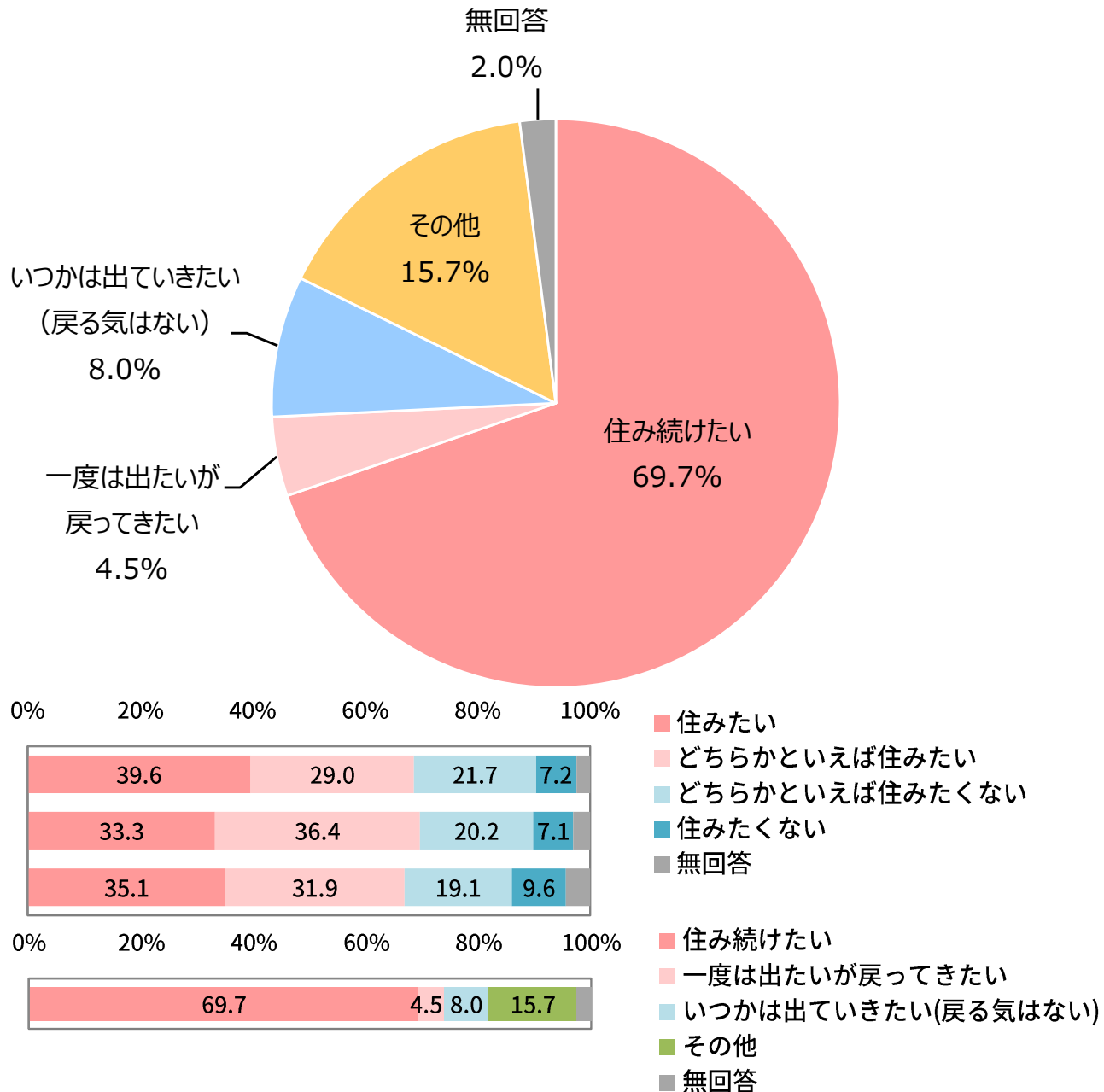


一般 (n=687)



- 愛着を感じている
- どちらかといえば愛着を感じている
- どちらかといえば愛着を感じていない
- 愛着を感じていない
- 無回答

まちに対する愛着



現行計画の構成

『まるい輪の中、心行き交う、やすらぎのまち
～みんなの手によるまちづくり～』

3つの
基本目標

観光を機軸に交流・産業を創出するまち

- 一年を通じて島の魅力と特性を活かした「観光振興＝交流人口の拡大」を機軸にして、交流・生産・流通等の地域の産業につながるハード・ソフト両面の施策を展開。
- 観光を前面に押し出し、積極的に推進することで、地元の農林水産物を活用した味覚や、隠岐特有の資源を活かしながら他のさまざまな産業と連携させて、新たなトータル産業体系を整備し、併せて雇用の場の創出。

島をリードする隠岐びとが育つまち

- 活気ある地域社会をめざした、地域を担う人材育成としての「隠岐びとづくり」の取り組み。
- 隠岐を愛する心を育てるため、地域社会と連携した「ふるさと教育」の推進。
- 情報化・国際化社会に対応できる人材育成に向けて、的確な情報処理能力を身につける教育の推進。

みんなで支えるやさしい福祉のまち

- 生涯を通じて健康な生活が送れるように、保健・医療・福祉サービスの質を高めるとともに、一体的なサービス提供体制と、みんなで支え合う地域ぐるみの体制の整備。
- 豊かな自然を守り、伝統文化を保存伝承し、誰もが安心して快適に暮らすことのできる環境づくりへの取り組み。
- 住む人みんなが支え合うことで、毎日が充実し、暮らしにゆとりのある笑顔の絶えないまちづくりへの取り組み。

8つの
基本方針

島の魅力と特性を活かした観光・交流のまちづくり

魅力的な観光・交流空間づくり

観光を機軸にした産業おこし

隠岐びとの心を育む教育環境づくり

隠岐びとが学び集う環境づくり

安心して暮らせる保健、医療、福祉の環境づくり

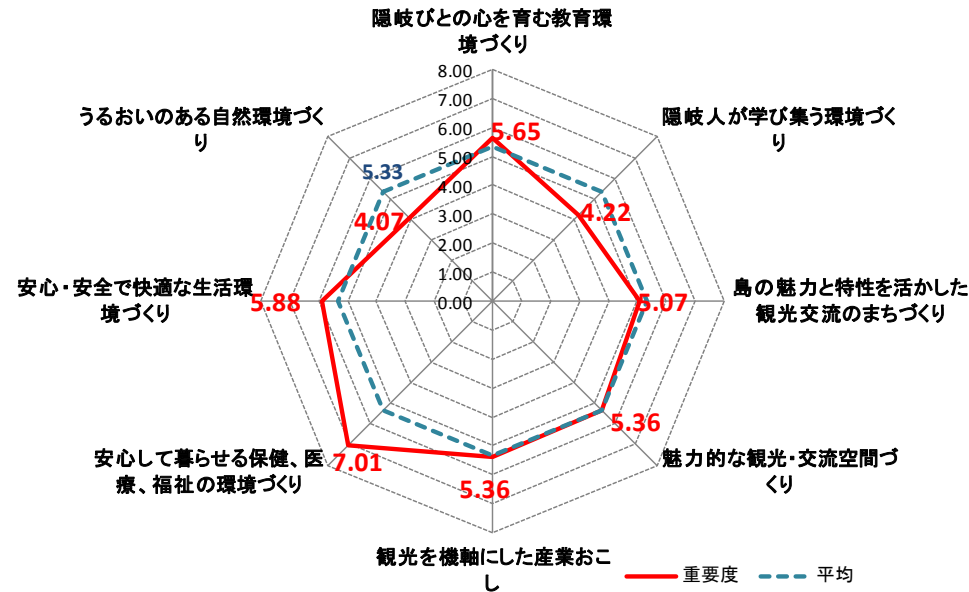
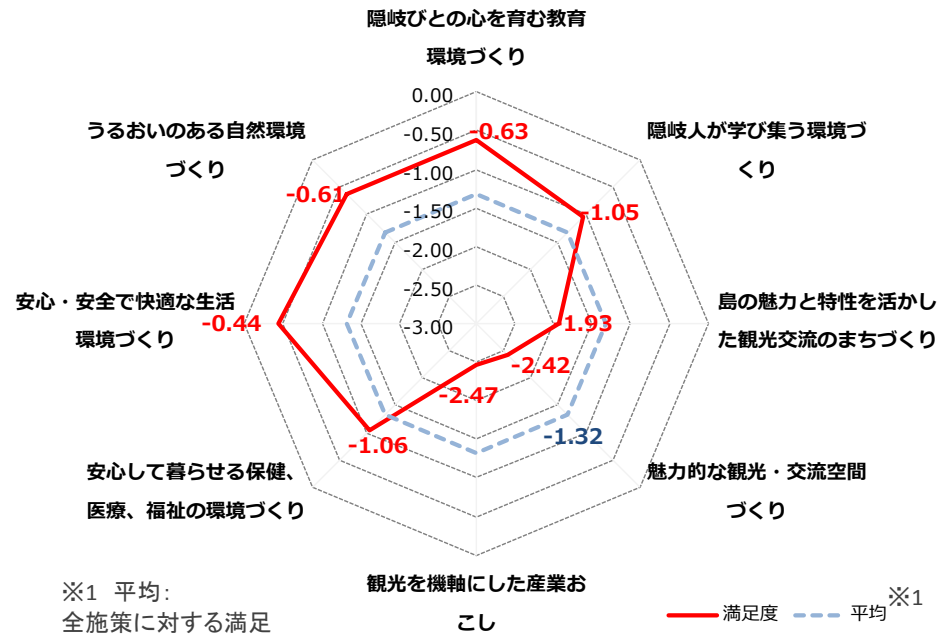
安全・安心で快適な生活環境づくり

うるおいのある自然環境づくり

既存施策に対する評価 (町民アンケート結果)

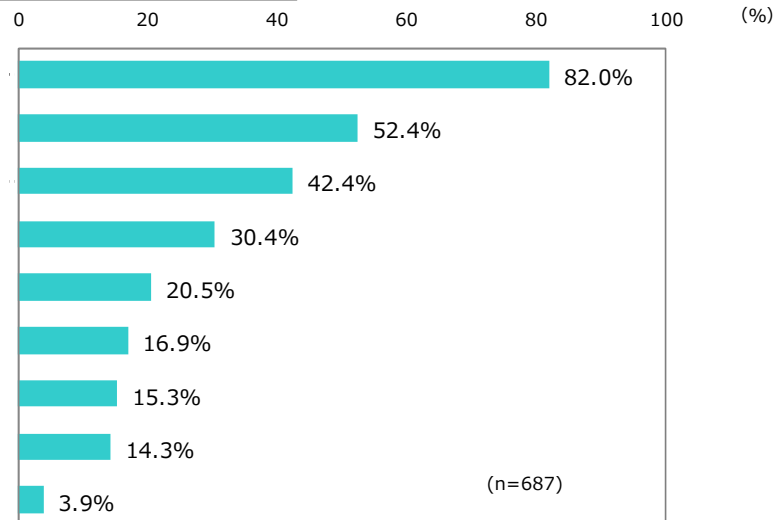
施策の満足度

施策の重要度



今後特に重要と思う施策

安心して暮らせる保健、医療、福祉の環境づくり
安全・安心で快適な生活環境づくり
島の魅力と特性を活かした観光・交流のまちづくり
隠岐びとの心を育む教育環境づくり
観光を機軸にした産業おこし
魅力的な観光・交流空間のまちづくり
隠岐びとが学び集う環境づくり
うるおいのある自然環境づくり
無回答



既存計画に対する評価（町民アンケート結果）

- ✓ 「教育環境づくり」「自然環境」「安全・安心な生活環境づくり」に関する「守り」の取り組みが評価される一方で、観光振興、産業振興等の「攻め」の施策に対する評価が相対的に低い結果。
- ✓ 総合振興計画の各施策に関する満足度について、全体的に「どちらかといえば不満」「わからない」とする回答の割合が多くなった。また、自由記述においても情報開示や住民との対話を求める意見が少なからず見られ、住民との対話や広報の充実を通じたわかりやすい情報提供の必要性が指摘。
- ✓ 小・中・高校生の定住意向は約7割と高い割合。「伝統芸能、祭りなどの地域の文化の学習・体験」や「海、山など自然環境とのふれあい」などに対し、小・中・高校生からの満足度が高く、郷土教育に一定の効果があったことが推察。
- ✓ 今後のまちづくりにおいて重要と考える施策分野については、「安心して暮らせる保健、医療、福祉の環境づくり」が各年代とも突出して高い結果。

第2次隠岐の島町 総合振興計画の策定方針

基本構想、基本計画、実施計画の3層構造により、 わかりやすさ・実行力を両立

基本構想（10年間）

長期的に変わることのないまちづくりの方向性

- まちづくりの目標
- 目指すまちの姿
- 進行管理手法

基本計画（5年間）

構想実現に向けた施策の体系

- 成果目標
- 重点プロジェクト
- 分野別の施策

実施計画（5年間）

施策を展開するための個別事業

第2次隠岐の島町総合振興計画

- ✓ 何を目指し、何に取り組むのかを示す羅針盤
- ✓ まちづくりの主体である町民・事業者等にとっての共感と参加のきっかけ
- ✓ 自分ごととして捉えることができる人の輪づくり



**町民や行政職員の
思いのこもった計画づくり**

職員・町民参加の取組み

職員研修の実施

(1) 目的

町職員自身がどのようなまちになることを望み、何を大切にすべきかを考え、共有することが大切との考えから、全職員を対象とした研修を実施し、今後の隠岐の島町のあるべき姿を検討した。

(2) 日時・場所

①第1回 平成31年3月5日 13：30～16：30

②第2回 平成31年3月6日 9：00～12：00

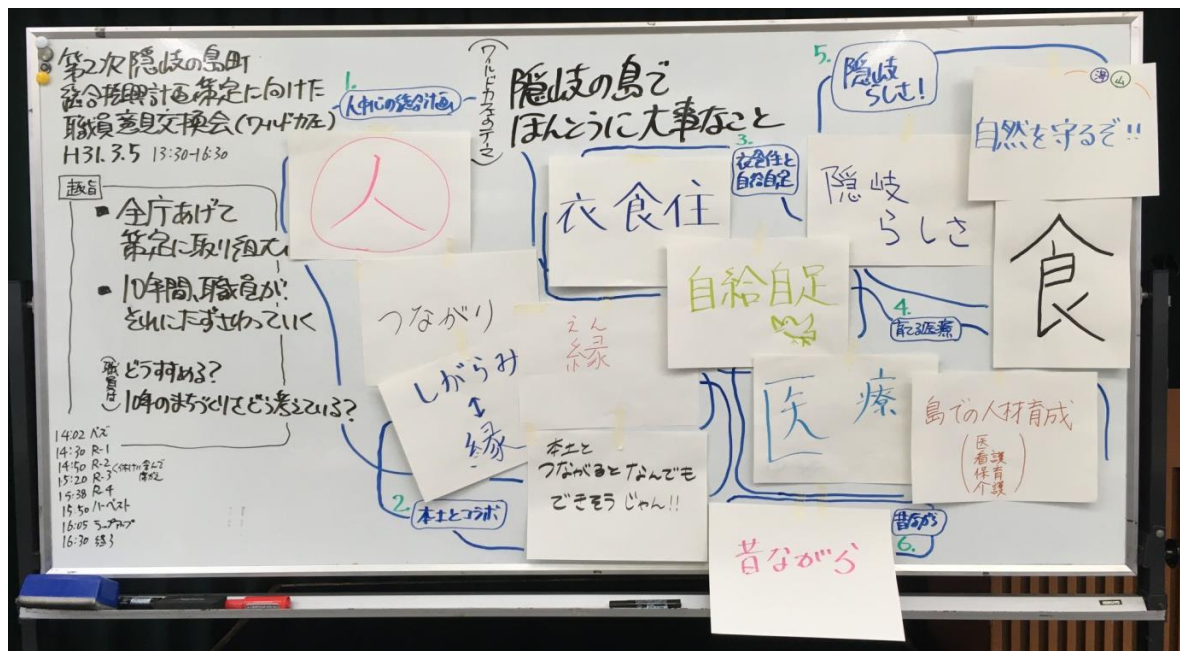
(3) 参加人数

①第1回：72人

②第2回：80人



第1回 「隠岐の島で本当に大事なこと」



①人中心の総合計画：

インフラ・安全・コミュニティの順に語られることが多いが、その先が求められる。
島に住む人、島外に住む人の役割も変化する。「つながり・しがらみ・縁」がキーワード。

②本土とのつながり：

「本土とつながると何でもできそうじゃん!!」の実現に向けて、「何でつながるか?」が重要。

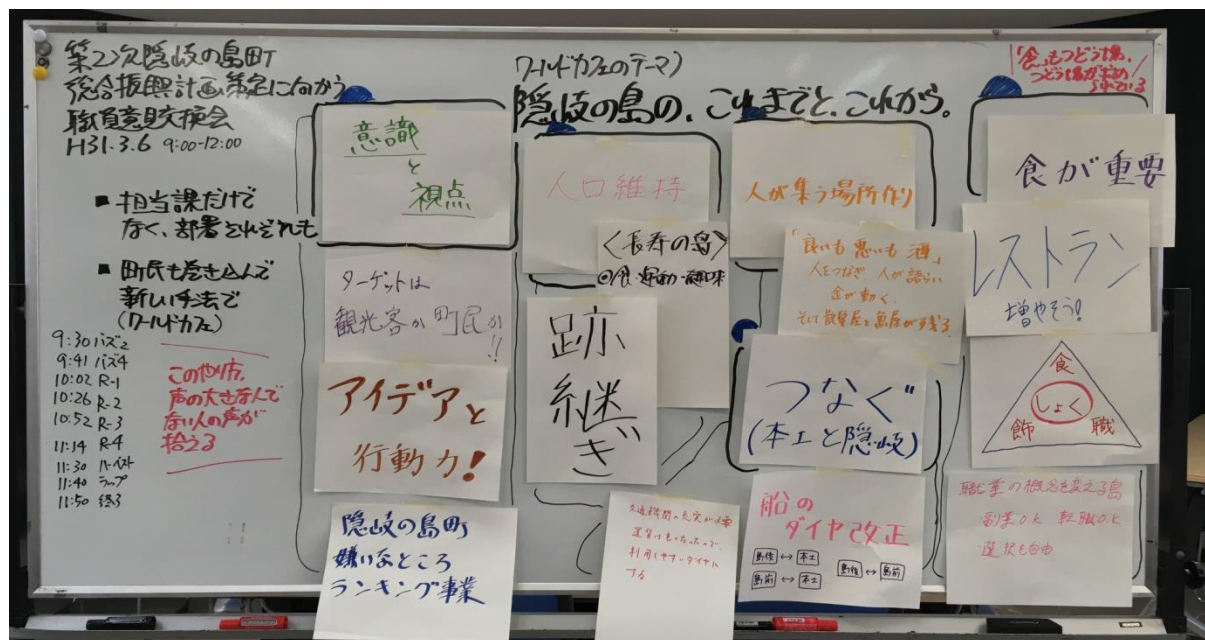
③衣食住と自給自足

④育てる医療：自分たちが必要とする人材を島内で育てることで確保する。

⑤隠岐らしさ：自然を守ることや、「食」を活かすことで隠岐らしさを大切にする。

⑥昔ながら：残したい隠岐の島を大切に、新しいもの活かす姿勢が大切。

第2回 「隠岐の島のこれまでとこれから」



①意識と視点：

まちづくりのターゲットは観光客か町民か？「オーバーツーリズム」という言葉もあるように、1万人のまちに必要な観光客は何人かを考えることも重要。「アイデアと行動力」が増すような計画づくり。アイデアが出やすく、行動する島へ。

②人口維持：「長寿の島」の実現に向け、スマホアプリを使った独自の指標ができると面白い。跡継ぎ問題を考える上で、そもそも血縁が跡を継ぐ必要があるのか、という視点に立った知恵と行動も有効。

③人が集う場所：人が集まり、語らい、飲食を共にすることで島内の経済循環が高まる。

④つなぐ：船や公共交通機関のダイヤ改正等を通じた本土と隠岐のつながりづくり。

⑤しょく（食・職・飾）：

集う場としての「食」が「飾」につながり、関連する職業にもつながる。副業、転職など既存の職業の概念に捉われない、隠岐の島町ならで職業を考える。

地区別意見交換会（実施中）

日 時	時 間	会 場	対象範囲
5月23日 (木)	19時00分～ 20時30分	役場 布施支所	布施地区
5月24日 (金)		中老人福祉センター	中村地区
5月27日 (月)		役場 五箇支所	五箇地区
5月28日 (火)		役場 都万支所	都万地区
5月29日 (水)		役場 ふれあいセン ター	西郷地区 東郷地区 中条地区 磯地区